

やぎしゅぞうぶ

八木酒造部

愛媛
今治市

歴史、風土について

山丹正宗の醸造元である八木酒造部は、江戸時代、幕末の足音が聞こえ始め1831年(天保2年)に、愛媛県今治市にて創業しました。

銘柄の由来は、創始者八木治兵衛が屋号を「丹波屋」とし、その家紋と酒のキレの良さを名刀「正宗」にあやかり、「山丹正宗」とたとえられています。



平成8年から使用しているロゴのデザインは、Jazzのデザインコンサルタントとして名高い松井桂三先生によるもので、平成9年に日本パッケージデザイン大賞の金賞を受賞しました。蔵は小さな島々が浮かぶ瀬戸内海に面しており、その風景どおり、やさしく穏やかな味わいのお酒を醸します。



山丹正宗は創業以来、品質一筋の酒造りに情熱をかたむけています。丹精込めて造りあげた山丹正宗の高品質をうらづけるものとして、全国新酒鑑評会など各品評会でも優秀な成績に輝き、高い評価を得ています。

酒造りへの想い



山丹正宗は創業以来、品質一筋の酒造りに情熱をかたむけています。丹精込めて造りあげた山丹正宗の高品質をうらづけるものとして、全国新酒鑑評会など各品評会でも優秀な成績に輝き、高い評価を得ています。お米は、自然豊かな愛媛で育った県産の酒米にこだわっています。主に松山三井、しずく媛等の酒米を使用しており、主要商品の9割以上が愛媛県産米となっています。また、酒造りに欠かせない良質な水は、西日本最高峰の石鎚山と、それに連なる四国山脈からの清冽な伏流水を用いております。この水は昭和天皇が今治を訪れた際、お茶の水に選ばれています。



杜氏 石田将志



弊社の杜氏は、瀬戸内海の大島を母体とする越智杜氏代々努めてきておりましたが、令和3酒造年度より社員の石田が杜氏を務めております。

越智杜氏伝承の技を守りつつ、現代の衛生管理や発酵技術を積極的に取り入れ、より良い酒を醸すことに情熱を注いでいます。

杜氏にしては珍しく、人懐っこい性格でお客様とのコミュニケーションも得意なので、イベントや店頭販売で見かけたときは、是非お声掛けください。

蔵元からのメッセージ

1831年に愛媛県今治市で創業した「山丹正宗」醸造元の八木酒造部は、地元の水と手造りにこだわりの瀬戸内海の幸や地元料理に合う、テロワールを意識した酒造りを行っています。

また毎年新たなチャレンジに取り組んでおり、最近では室町時代の製法「水配仕込み」や、ONKYOの技術でJazzを聞かせて酵母を活性化させたお酒、有機JAS認定を取得した自然派日本酒にも力を入れています。

常に進化し続ける地酒「山丹正宗」をよりしく願います！



